



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2194

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 森信秀樹
幹事 謙訪昭浩

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC [検索]



「家族月間」

2014年12月4日 第2170回例会
12月第1例会

◆会長時間◆

森信会長



皆さんこんにちは。いよいよ師走12月となりました。先週例会では不覚にも卓話後の会長謝辞をまともにお話しすることができずお詫び致します。わが子を一瞬にして飲酒運転による事故で失われた三浦さんとそのご家族のことを思うと胸が詰まりましたが皆さんも同じ思いではなかったかと思います。

さて、今月12月は、家族月間(Family Month)です。

1995-96年度ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明し、1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりました。2003-04年度ジョナサン・マジアベ会長が、2003年7月の同理事会において、家族の重要性を改めて呼びかけ毎年12月を「家族月間」と指定しました。これに伴って「家族週間」は廃止されました。

この月間は、ロータリアンにプロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会への献身を示すとともに、クラブおよび地区は、会員とその配偶者や子供、親戚、元ロータリアン、亡くなつたロ

ータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りや善意の行動は、さまざまな考え方を協力的に分かち合い、会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信用を得、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることが期待されます。

現在、インターアクター、ローターアクター、ロータリー財団学友、ロータリー地域社会共同隊など、ロータリーに関係するすべての人の組織を含めて「ロータリー家族」と呼んでいますが、この偉大な「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことも奨められています。

本年度 Gary C. K. Huang RI会長は、ロータリーの友12月号で「今のロータリ一年度で、皆さんの多くが皆さんの家族にロータリー、そしてロータークトやインタークトへの入会を勧めてくださることを望んでいます。ロータリーに家族を連れてくることは、『ロータリーに輝きを』もたらすだけではなく、皆さんの人生そのものにも輝きをもたらすことにもなります」と述べられています。私自身も常日頃家族の大切さを実感していますが、12月18日の夜間例会は、家族への感謝を示す良い機会かと思いますので、ぜひご家族を誘い合わせて親睦委員会の企画のもとで大いにご家族とともに1年間のねぎらいのひと時を過ごしましょう。

■ 新会員に会員証、ロータリーバッヂ、四つのテスト及びロータリーの行動規範を贈呈



林 田 博 会員

● 会務報告 謙訪(昭浩)幹事

※次週11日の例会は年次総会となっておりますので、多数のご出席をお願い致します。

※「第23回世界スカウトジャンボリー」への支援依頼が地区から届きました。本日、有志の皆様からの寄付を募りたいと思いますので、よろしくお願いします。

※福屋の香川さんから視覚トリック3Dアート展の招待券をいただいております。ご興味のある方は受付にてお受け取り下さい。

● 委員会報告

■ プログラム・出席委員会

出席報告 柴田委員

本 日 (12月4日・木曜日)

会員数 77名 出席者 65名

欠席者 12名 ご来客 3名

ご来賓 0名 ゲスト 1名

計 69名

前々回 (11月20日・木曜日)

出席率 100%



■ 青少年・インタークト委員会 上田委員長

本日、皆様のボックスの中に、日韓親善インタークトホームステイ受け入れ依頼という案内を入れております。

2015年1月24日～25日に日韓親善インタークト交流会が2710地区主催で開催されます。

今回のホスト校を、我がクラブが支援をしております、鈴峯学園が務めることになっております。

その際、例年韓国インタークト学生の、特に男子学生のホームステイの受け入れ先が不足しております。この度、鈴峯学園、西村校長より西ク

ラブに支援の要請がありました。特に男子学生の受け入れをお願いしたいということですので、是非会員の皆様のご協力をお願い致します。

詳細は、配布資料でご確認いただければと思います。宜しくお願ひ致します。

■ 職業奉仕委員会 中山委員長

10月23日に行われた職業奉仕部門クラブフォーラムの意見集約を掲載いたします。ご一読ください。

職業奉仕部門 クラブフォーラム 討論内容

第1グループ 建築・土木設計、建設業関係 業界の現状

- 1 新規土木工事は少なく、今あるものを補修することが重要視される。
- 1 事故に備えた保険適用も厳しく、入札の影響もあるので実費対応する。
- 1 建築市場は厳しく、依然として、各業種の職人不足が問題となる。したがって職人の社会保障の充実が求められ、人材不足から外人化が進む。
- 1 ニュース・新聞等で見る欠陥ビルの責任は建築許可を出す役所にはない。
- 1 社内でのチェック機能を強化して問題を未然に防ぐ。そのためには、日報報告などは全員で見られるようにしている。
- 1 現場での問題も現地写真をメールすることで、即応体制を強化している。
- 1 工事内容によっては専門資格者が必要で、いかに社員を辞めさせないようにするかが大事である。
- 1 業界としては、従業員を時間拘束するのが長いため若い人が続かない。
- * 報告連絡等の管理体制の策定が、業界での重要課題であり、トラブル回避の重要な要素となっている。また、個々の専門資格者が必要であり、キャリア顧問の再構築も視野に入れておく必要がある。

第2グループ 鉄骨・ガス・機械・ビジネスサービス関係

- 1 失敗した企業は知っているが、紙面上では控えたい。
- 1 ガスはエンドユーザの取り扱いによっては命取りにかかる仕事なので、社長・社員の気の緩みを戒める。
- 1 クレームの内容は、品質・接客に過敏すぎ

る人の不満であろうと考える。しかしほかの事についてもクレームを起こしているはずである。

- 1 会計の世界でも正確な情報・専門知識を顧客に提供することは必然の義務である。
- 1 クレーム解決には、人間性を先方に理解して頂くしかない。
- 1 社内クレーマーがいるのも事実、対応にも、解決にも時間と心労がかさむ。
- 1 賃貸アパートの退去で、現状回復費用の精算でもめることが多い。小額訴訟制度で弱者が保護されるが、この弱者の中にクレーマーがいる。
- 1 ロータリーは人間の生き方を学ぶところ、間違った行為は戒めてほしい。
- 1 石油業界を談合していると提訴した人は、裁判で負けた。
- * 建築。鉄骨・機械などは、事故の発生率が高く、気を付けたい業種であろう。
社内クレーマー、内部告発等を避けるため、危機管理体制の充実・コンプライアンスの策定が急がれる。

第3グループ 医療・金融・宗教・広告・報道関係

- 1 広告では誤植に注意する。商品価値がなくなってしまう。
- 1 朝日新聞の従軍慰安婦問題、福島原発問題等は社会倫理を逸脱した重大問題。
- 1 医療関係も困難患者があり、その対応・対策に苦慮する。
- 1 日本医師会にシステムがあり、報告書を書く方法がとられている。
- 1 受付の対応能力を上げるように、指導している。
- * 医療関係には、困難患者による問題が存在している。
医療過誤・逆恨み等のクレームもあり、早い時期にコンプライアンスの啓発をする。

第4グループ ホテルレストラン・百貨店・食品工業関係

- 1 倫理から外れているのは雪印であった、その後厳しい規制ができた。
- 1 成分表示が大事である。アレルギー事故といわれるものである。
- 1 使用素材の表示も、社会問題となった。エビ、カニ、肉の問題である。

- 1 原産地の表示問題であるが、説明が難しい。
- 1 菓子博でも、山のようにクレームがあった。
- 1 量販店からの要望がきつすぎる。製造日から一週間のものしか納入できない。
- 1 添加物協会主催の表示講習会がある。
- 1 P L 保険もある
- * 食品関係の問題は、多種多様で多岐にわたる。食中毒や毒入り餃子とか、健康に害する成分があるだけに、消費者も気にかけている食品関係です。
規制が厳しいだけに、クレーム件数も多くなります。接客態度、商品管理不備、設備不備などは、平素からの社員教育が必要とされる。

第5グループ 不動産・ビル管理・家具・教育・衣料電気関係

- 1 クレーム対策として、マニュアルを作成している。
- 1 園生のけがの対処法についてマニュアルを作成している。それが功を奏している。
- 1 暴力団対策には警察指導のマニュアルで対応している。
- 1 交通事故の対応にもマニュアルを必要としている。
- 1 退去補修の精算業務は日々の人間関係が重要
- 1 家具販売の場合はクレーム処理が多く、責任者の能力は重要である。
- 1 飲食店での食中毒は、原因の特定が難しく解決が困難。貝類は店では出さない。
- 1 クレームは、人間関係でクリアーとなることも多くて、受ける側も高いステータスが必要
- 1 賃貸住宅の2年ごとの契約更新は、予期せぬトラブルを防いでいる。
- 1 牡蠣販売のクレームは、スピードと誠意が重要です。
- 1 食品工場向けの制服の出荷には、大きなコストがかかる。早い対応がトラブル解消
- * 不動産関係は退去補修の精算業務におけるトラブルが多く見受けられる。
マニュアルを作成し迅速な対応をする方法もクレーム対応です。
運転手の酒気帯びチェックが、毎朝厳しいのがタクシー業界

● 同好会報告

■ 紫友会 吉田世話人

12月例会のご案内をさせて頂きます。

来る12月13日(土)に今年最後の紫友会例会を開催致します。

場所は広島ゴルフ倶楽部鈴ヶ峰コースです。今月から3ヶ月連続で鈴ヶ峰開催となります。少し遅く9時30分のスタートとなっておりますので、9時00分にはゴルフ場に集合して下さい。

なお、当日は表彰式を兼ねた忘年会を「うを久」で午後6時30分より開催致します。今年1年を振り返り、鈴ヶ峰と「うを久」で大いに盛り上がりましょう！

アウト・イン各3組ずつの計6組24名で開催予定です。よろしくお願ひ致します。

■ 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会11月度例会のご報告

11月20日木曜日に、いつもの庚午クラブで、夕方6時より紫雀会11月例会が行なわれました。まずは、腹ごしらえということで、おとなりのそば吉さんの食事をとってのスタートとなりました。

成績は、役満をなんと2回も達成された刀禰さんが見事、優勝されました。惜しくも準優勝は中村さん、3位はいつも入賞にからまれる小橋さんでした。

次回は、12月25日木曜日に、クリスマス麻雀ということで、タカタビルシーサーにて、盛大にやりたいと思いますので、ふるってのご参加宜しくお願ひ致します。集合時間は6時です。

● 会員記念日



12月お誕生日おめでとうございます。

(9名)

園尾君 片山(常)君 渋谷君
諏訪(昭浩)君 新原君 土井君
大本君 川西君 原君



● 卓話予告

日 時	テ 一 マ
12/18(木)	夜間例会並びに家族同伴懇親会
12/25(木)	休会(第2回目)
1/8(木)	年男放談1 安部会員・井原会員

■ 新会員紹介

○ 林田 博 会員

推 薦 者 梶本政明会員

推薦同意者 謄訪昭登会員

生年月日 1964年5月22日

勤務先 チサンホテル広島

役職名 支配人

学歴 第一経済大学

この度、歴史、伝統ある広島西ロータリークラブに入会させて頂くこととなりましたチサンホテル広島の林田博と申します。入会に際し梶本政明さん、諄訪昭登さんからのお推薦を頂きましたことと会員の皆様方の承認を頂きましたこと深く感謝、お礼申し上げます。

私は長崎で生まれ、福岡の大学を卒業し、28年間チサンホテルに勤務して参りました。その間、九州を離れたのはわずか3年間、千葉県野田市にあるホテルを経験したのみで、九州以外での勤務に期待と不安のなか2014年8月に広島に着任致しました。広島での勤務も4ヶ月を過ぎ、平和公園、宮島、広島城等の観光名所と美しい街並みを満喫しております。

勤務しているチサンホテル広島はソラーレホテルズアンドリゾーツ(株)が運営する全国60ホテルのひとつであります。170室、収容197名の客室とレストラン、宴会場を付帯した広島市内におきましては中規模のビジネスホテルでございます。

家族は妻、長男の3人家族で福岡に在住しております。単身赴任も10年目となり、広島での充実した単身生活を楽しんでおります。

趣味はスポーツ全般、陸上、野球、ボクシングと学生時代に経験し、現在は休日、勤務前後にジョギングを楽しんでおります。12月14日には宮崎で開催される『宮崎青島太平洋マラソン』に出場予定でございます。スタート時点ではモチベーション高くスタートするものの、20キロ、30キロと走るにつれ、気持ちも折れ、ヨレ



ヨレになりながらゴールすることが多かった大会が多くありました。しかし、今回は今まで以上の練習が出来ましたので、自己最高記録を狙って頑張りたいと考えております。

最後になりますが、若輩者でございますが広島西ロータリークラブの皆様方に迷惑を掛けぬよう、一生懸命努める所存でございますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

●スマイルボックス SAA 井下委員

○ 謙訪(昭登)君(自主申告・トリプル)

結婚40年記念に、家内にプレゼントしたネックレスが、所在不明になっていましたが11月25日に17年ぶりに見つかりました。

大変残念だったものが、解決出来て嬉しく思っております。

○ 土井君、柴田君(自主申告)

12月1日の中国新聞の朝刊に、土井と柴田がドンと写真入りで出ました。その内容は、中国新聞社が展開している「飲酒運転ゼロプロジェクト」推進運動の一環で、大勢の方々とマツダスタジアムでPR写真を写したもので。土井、柴田は運良く前列のセンターでバッヂリ写っております。皆さんも飲酒運転ゼロを推進していきましょう。出宝させて頂きます。

○ 林田さん、梶本さん、謙訪(昭登)さん

林田さんご入会おめでとうございます。クラブメンバー一同入会を歓迎いたします。クラブに慣れて、良きロータリアンとしてご活躍されることを祈念しています。ご出宝下さい。

推薦者の梶本さん、推薦同意者の謙訪(昭登)さん、すばらしい方をご推薦頂きありがとうございます。ご出宝下さい。

○ 中岡君

経済レポート12月2日号によりますと、金座街で金地金売買を取り扱うナカオカは、6、7日の2日間限りで、「金箔エステ体験会」を開催する。

金は血行が良くなり肌を再生させるといい、小顔、美白の促進、たるみ防止、毛穴引き締めなどが期待できるとしている。通常1万円以上する顔だけの金箔エステを4,980円で実施する。1日15人限定で完全予約制。施術時間は約30分。だそうです。

益々の社業発展を祈念しております。

○ 安部君、荒川君、藤田君、古屋君、古本君、福田君、堀江君、井原君、日域君、金本君、児玉君、木村君、森脇君、森信君、松田君、新本君、尾形君、大本君、小田君、大植君、新原君、豊岡君、垂井君、篁君、梅田君、山木君、吉田君

12月、師走です。師走の語源は諸説あります。僧(先生)が忙しく走り回る説、春夏秋冬四季の終わり、つまり「四季はつる月」と言う説。SAAは前者を採用します。

日頃先生と呼ばれている方は師走でのご活躍を祈念し、ご出宝下さい。

○ 紫雀会11月例会の発表がございました。

優勝 刀瀬君 ダブル
準優勝 中村君
3位 小橋君

●例会料理メニュー



■卓話

広島の車窓から Part2

梶泰起君



私は、約3年前に新会員として卓話をさせて戴きました。

その際は、「スイスと広島の車窓から」と題して、広島の鉄道の状況を、環境・環境・幹線をキーワードとし、2008年に訪問したスイスと対比させながらお話ししました。あれから3年が経ち、残念ながらスイス再訪は実現していま

せんが、我が街広島では鉄道に関係する変化もありましたので、本日は、「広島の車窓からパート2」と題してお話しします。

今回は、前回とは趣向を変えて、趣味としての鉄道に比重をおいています。まず、鉄道ファンの類型ですが、一般的には、乗って楽しむ「乗り鉄」、収集や走行を楽しむ「鉄道模型ファン」、写真を撮って楽しむ「撮り鉄」等があります。「撮り鉄」のスライドのモデルは、2008年のスイス旅行の際はまだ小学生だった愚息ですが、高校生になった今、主に「撮り鉄」に凝っており、本日見て戴く写真にも彼の作品が数多く含まれています。各類型に共通したキーワードは、新しいもの、珍しいもの、去りゆくものの3つではないかと思います。

去りゆくもののうち、自分が一番興味を持っているのは、廃止となった鉄道路線「廃線(跡)」です。広島駅から新幹線に乗って右側を見るとマツダスタジアム見えますが、同時にその周辺は廃線跡であります。1966年の航空写真にはそれがもっと明確に残っています。荒神陸橋あたりからゆるやかな右カーブを描いて南下している路線が、宇品線です。また旧キリンビル株広島工場へ向かう引込線も見えています。その廃止を告げる同社の社内報を関係者の方のご厚意でご覧戴きます。現在宇品線跡には、かつての路線を記憶にとどめるためのモニュメントや、駅跡を示す看板等が設けられ、残された空地は憩のための空間として活用されています。

陸上輸送と海上輸送との接点に位置した宇品線は廃止されましたが、現在でも国内には、「臨海鉄道」と呼ばれる鉄道会社が10社あり、貨物輸送を主体に事業を継続されています。鉄道貨物輸送の主力は、日本貨物鉄道(株)(略称、JR貨物)ですが、全国でも広島だけ、というシーンがあります。スライドの動画では、轟音とともに走っていくコンテナ貨物列車の最後尾で赤い機関車EF67が後押ししていました。ご存知の方も多いと思いますが、瀬野～八本松間の上り勾配、通称「瀬野八(セノハチ)」を克服するための後押し機関車です。この区間だけに必要な機関車であり、ファンにとってはたまらないシーンですが、JR貨物関係者のみなさまの経営上のご努力がしのばれるシーンでもあります。

旅客輸送の分野では、クリーム色に青い線、通

称「瀬戸内色」の115系電車からスタートした「広島シティ電車」は、長らく新車が投入されていませんでしたが、いよいよ来春、カープの赤、もみじの赤、宮島の鳥居の赤をあしらった待望の新車227系電車が登場します。いまから楽しみにしています。また、可部線の延伸やアストラムラインと山陽本線の乗換ができる新白島駅の建設が進んでおり、広島駅では、構内外の大規模な再整備が計画されています。駅構内では新しい連絡通路が先月2日から供用開始されています。広島駅南口の再整備はこれからですが、普段見慣れている駅前通りや、猿猴橋停留所、的場町停留所周辺は大きく様変わりする計画であり、これを機会にご覧のような画像に残しておくことにしました。

鉄道車両のものづくりの世界では、お隣山口県の下松にある日立製作所笠戸事業所からは、新幹線や在来線の特急や大都市の通勤電車が出荷されており、在来線用車両がJR貨物の機関車に牽引されて運ばれる甲種鉄道車両輸送は、普段広島では見ることのできない車両が目の前を走っていくシーンであり、ファンとしてはなんとかして撮影したい場面あります。

一方で、我が広島県にも鉄道車両のものづくりの拠点があります。アストラムラインなどの新交通システムやグリーンムーバーMaxなどの低床式路面電車を製造する三菱重工業(株)三原製作所です。同所和田沖工場には、本年10月2日に、実物の車両を走行させることができる一周約3.2kmの周回線路をもつMIHARA試験線が竣工しました。同社以外の企業や公共団体等の利用も念頭においた検証施設であり、我が国の鉄道の性能や安全性の向上への貢献が期待されています。本日ご覧いただいた動画は、関係者のご厚意により提供戴いたものです。

鉄道趣味は、新しいもの、珍しいもの、去りゆくものを追いかける趣味の世界ではありますが、今回の卓話の機会に、その対象である新しい路線や駅周辺の整備等の街づくりや、安全で快適な車両を世に出すものづくりには、プロとしての関係者の方々の存在があることを再認識しました。その機会を戴いた村上委員長、資料を提供戴いた関係者の皆様に感謝しています。また、豪華列車や観光スポットが一切登場しない地味な内容にもかかわらずご清聴いただいた会員の皆様にも深く感謝いたします。